

2018 年 6 月 22 日

第 8 回競争的な電気・ガス市場研究会

「経過措置料金規制の解除」を中心とした消費者の認識調査の報告

オブザーバー 大石 美奈子
矢野 洋子

○一般社団法人 全国消費者団体連絡会の調査結果より

1. 「電気料金の自由化に関する消費者アンケート」結果報告

2. 「電気料金の自由化に関する消費者アンケート」結果 別冊資料

(自由記述の記載一覧)

○参考資料

「電力・ガス小売自由化に関する課題についての消費者委員会意見」から
『経過措置料金規制解除』関連の紹介

「電気料金の自由化に関する消費者アンケート」結果報告

一般社団法人 全国消費者団体連絡会

2016年4月から電力小売の全面自由化が始まり、一般の消費者は電力会社（小売電気事業者）や料金プランを自由に選べるようになりました。

また電力会社（小売電気事業者）の新規参入が始まり、電力会社（小売電気事業者）は自由な料金プランの設定ができるようになりました。

今回、全国消団連では、家庭用電力小売自由化開始から2年を経過した時点の、消費者の電気料金の自由化についての現状認識やご意見について調査しました。その結果を報告します。

【調査結果のポイント】

- ・ **スイッチングについて**、「電力会社を切り替えた（35.6%）」「今までと同じ会社で料金プランを切り替え（3.9%）」を合わせると、回答者の4割近くが切り替えており、消費者委員会の調査結果（約18%）（注）に比べて高かった。
- ・ **切り替えた理由**は、「切り替えた方が料金が安くなる」「原発由来の電力を使いたくない」「大手電力会社から切り替えたい」「再生可能エネルギーを使いたい」というものが多く、「1箇所（ガス、電気、電話など）まとめて支払える」「営業で強く勧められた」という理由もあった。
- ・ **切り替えていない理由**は、「切り替えるメリットを感じない」「面倒だから」「切り替えるということがどういうことかわからない」「他電力会社の情報が少なく、選び方がわからない」「マンションの一括受電や集合住宅のため」というものが多く、「切り替えたい電力会社が見つからない」「選択肢が少ない」「もう少し様子を見て」という理由もあった。
- ・ **経過措置料金については**、「知らない（39.5%）」「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない（43.9%）」が合わせて8割を超えており、ほとんど認知されていない。
- ・ **経過措置料金規制が解除されることについての考え**は、「電力会社（電気小売事業者）同士の競争が十分に起きていることを確認できれば（2020年以降に）料金規制を撤廃しても良い（37.1%）」「わからない（24.9%）」「電力会社（電気小売事業者）同士の競争が十分に起きるとは思わないので、2020年に料金規制を撤廃するのはまだ早い（23.9%）」の順となり、「電力会社（電気小売事業者）同士の競争が十分に起きると思うので、2020年に料金規制を撤廃しても良い」は9.8%にとどまった。
- ・ **経過措置料金規制が解除されることについての意見**は、「消費者が規制料金のことや撤廃された場合のメリット・デメリットについて十分認識していないので2020年の撤廃には反対」「料金規制を撤廃しても競争圧力が強まるわけではなく、むしろ値上げしやすくなるだけのため、消費者保護の観点から規制料金の廃止は反対」「大手電力会社が生産・送電網を独占している限り、自由な競争の土台が作られるとは思えないので、料金規制撤廃はするべきではない」「何をもって競争が十分にできているとするのか根拠を明確にしてほしい」といった意見のほか、「撤廃されたら電気料金はどうなるのか」「撤廃後の監視体制を徹底してほしい」「撤廃後の電気料金が適正なものかどうか、検証評価が必要」「料金プランをわかりやすく提示してほしい」「将来を考えると競争は必要」などの意見があった。

【調査概要】

実施期間：4月27日～5月18日

調査対象：一般消費者

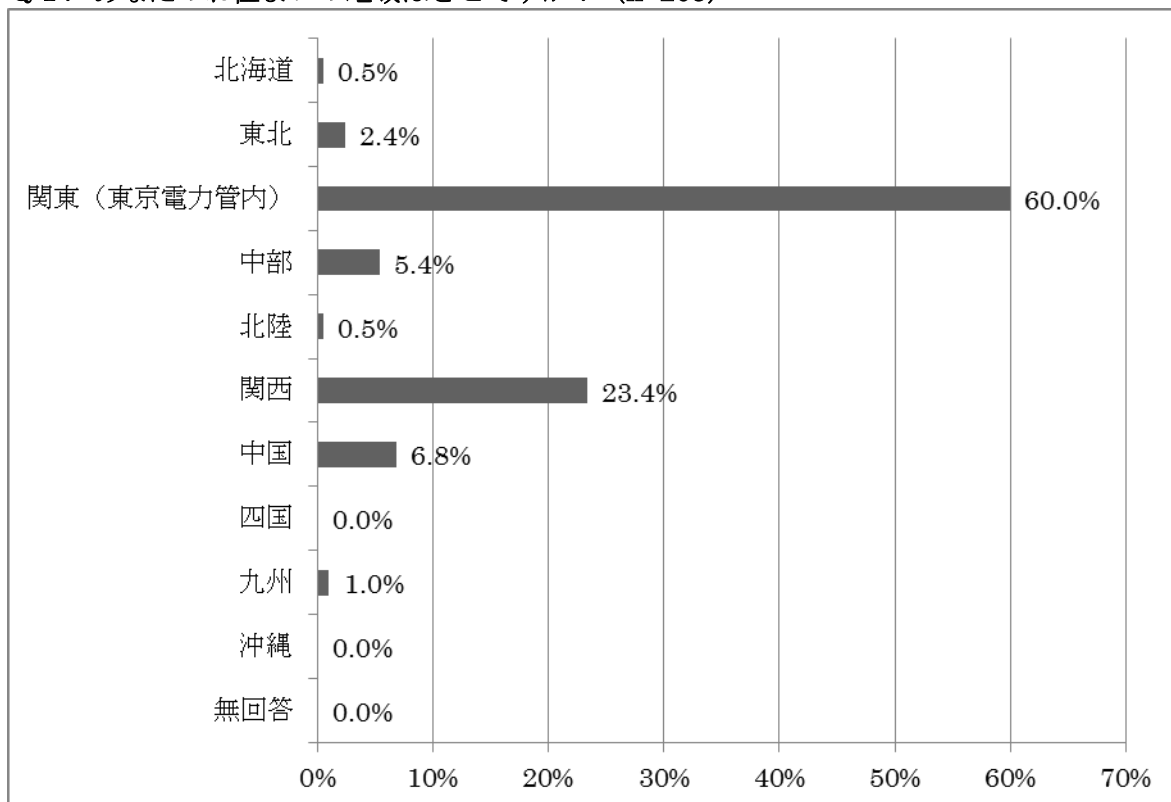
調査方法：ホームページ及び会員団体を通しての回答呼びかけ

回答数：207通（うち有効回答数205通）

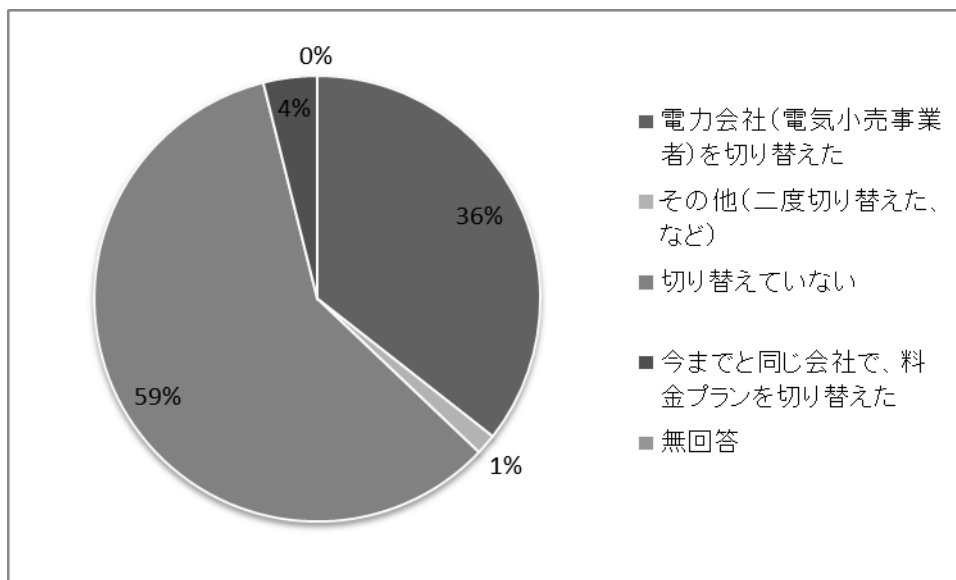
（注）電力・ガス小売自由化に関する消費者の意識について（平成30年4月26日第45回消費者委員会公共料金等専門調査会資料3）

*以下、回答中の個社名は、業種名（大手電力、ガス会社、新電力、携帯電話会社、生協など）に替えています。

Q 1. あなたのお住まいの地域はどこですか？ (n=205)



Q 2. あなたの世帯では、電力小売全面自由化以降、電力会社（電気小売事業者）を切り替えましたか？



Q 3. （任意）よろしければその理由を教えてください。（回答数：174）

* 「電力会社（電気小売事業者）を切り替えた」方の回答（回答数：69 より抜粋）

- ・ 切り替えた方が料金が安くなるから
- ・ 原子力発電を行っている（行おうとしている）事業者とは契約したくないから
- ・ 大手電力との契約をやめたかった
- ・ 再エネ率の高い事業者に切り替えたかったから

- ・新電力を応援したかったから
- ・切り替えることで社会に貢献できる、意思を表明できると考えたため
- ・1箇所（ガス、電気、電話など）まとめて支払えるから
- ・利用している携帯電話で割引があったため
- ・営業で強く勧められた（らしい）
- ・簡単に切り替えできたから

***「今までと同じ電力会社で、料金プランを切り替えた」方の回答（回答数：5より抜粋）**

- ・ポイントが貯まるから
- ・単価やサービスが向上しました
- ・比較情報がなかった

***「切り替えていない」方の回答（回答数：97より抜粋）**

- ・変える必要性やメリットを感じない
- ・業者の選択や手続きが面倒であるため
- ・変えるということがどういうことか分からない、また変え方が分からないため
- ・自由化を促進することが、市民にとって良いことか悪いことか分からないため控えている
- ・各社の違いが分かりにくく、スイッチの判断が難しい
- ・切替先となる事業者のプラン等の内容を正確に把握する機会がないため
- ・切り替えたいと思うが、他電力会社の情報が少なく、選び方がわからない
- ・再生エネにしたいのだが、適切な事業者の情報が無い
- ・マンション一括受電のため
- ・借家であり大家が電力会社と契約しているため
- ・原発由来の電気じゃないところに変えたいが、そうすると私が住んでいる地域だと結局ガスや石油由来の会社の選択肢しかない。もっと自然エネルギーを主体にやっている会社に変えたいのだが・・・。
- ・比較して、切り替えたい電力会社が見つからなかった
- ・新しく電気・ガスセットの電力会社を選択したいのですが、今の居住地ではガスがプロパンのためいまだに可能になっていません
- ・東北の場合は選択肢が少ないから
- ・他に選択肢がないから
- ・新規参入は不安だから 主人の同意が得られなかったから
- ・停電になった時の対応の不安。自由化が既存の電力会社の料金に反映されて安くなることは賛成するがまずは安定供給を望むため変更は考えていない。
- ・切り替えた会社が倒産したらどうなるのかとか、諸対応に不安があるから
- ・今までの電気料金より安くなるという説明に根拠が見いだせず、さらに悪徳商法としてまかり通っているので真偽が見分けられないから
- ・検討中です
- ・切り替えたいと思っているが、もう少し様子を見てみたいから

***「その他」の回答（回答数：3より抜粋）**

- ・自宅の屋根に太陽光パネルを置き、鉛の蓄電池で蓄電して使う「自給自足」をするようになったため
- ・大手電力からガス会社へは、自由化を待ってすぐに変更しました。一時でも早く原発の電気を売る大手電力をやめたかったから。ガス会社から生協に変えたのは、ガス会社が火力発電を行っていたから。生協の電気は風力・バイオマス・太陽光・小水力発電等再生可能エネルギーのみなので。

次の文をお読みになり、Q4以後の質問にお答えください。

電力小売自由化が始まる前は、電力会社は地域に1社だけしかありませんでした。そのため、独占的地位に乗じて不正な料金値上げを防ぐことなどを目的に、料金を変更（値上げ）する場合には国の認可が必要となっていました（これを規制料金といいます）。

2016年4月に、電力小売自由化が始まってからは、新たな電力会社（電気小売事業者）の参入が可

2020 年 4 月以降は、競争が十分に起きていないなど、電気の利用者の利益を守る必要が特に高いと認められる区域を除き、経過措置は解除され、規制料金は廃止される予定です。現在、経産省の研究會や審議會等において、解除の条件等の検討が始まっています。

Response	Percentage
内容も含め知っていた	44%
聞いたことはあるが、詳しい内容は知らなかった	39%
知らなかった	17%
無回答	0%

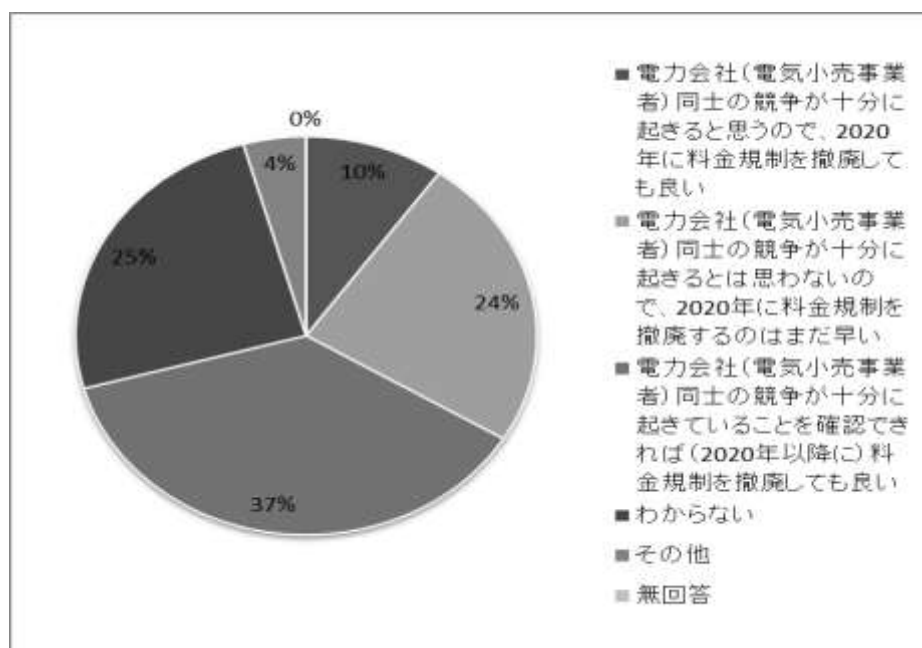
ア. 電力会社（電気小売事業者）同士の競争が十分に起きると思うので、2020 年に料金規制を撤廃しても良い

イ. 電力会社（電気小売事業者）同士の競争が十分に起きるとは思わないので、2020 年に料金規制を撤廃するのはまだ早い

ウ. 電力会社（電気小売事業者）同士の競争が十分に起きていることを確認できれば（2020 年以降に）料金規制を撤廃しても良い

エ. わからない

オ. その他（ ）



＊「その他」の記載（回答任意：回答数：9より抜粋）

- ・電力会社同士の競争が十分に起きるとは思いますが、規制撤廃の効果も期待できません
- ・大手以外が普及できる競争力を持てる条件の整備が必要なのにされていないので、時期尚早
- ・撤廃すべきではない
- ・都会は2020年に撤廃しても良い
- ・電気代が高くなるのも安くなりすぎるのも困るので、そのあたりの監督がきちんとできるのであれば撤廃しても良い

Q 6. 経過措置が解除され、大手電力会社に対する料金規制が撤廃されること（規制料金の廃止）について、わからないことやご意見等を自由にご記入ください。（例：撤廃されたら電気料金はどうなるのか、料金プランを選べるので撤廃しても良い、撤廃後の監視体制を徹底してほしい、など）（回答任意回答数：135より抜粋）

- ・消費者が規制料金のことや撤廃された場合のメリット・デメリットについて十分認識していないので2020年の撤廃には反対です。
- ・切り替えしている人はまだ5%くらいと聞いているので、撤廃する状況ではないと思います。何ををもって競争が十分にできているとするのか根拠を明確にしてほしいと思いますし、2020年撤廃には反対です。
- ・料金規制を撤廃しても競争圧力が強まるわけではなく、むしろ値上げしやすくなるだけのため、消費者保護の観点から規制料金の廃止は反対。
- ・大手電力会社が送電網を独占している限り、自由な競争の土台が作られるとは思えないので、料金規制撤廃はすべきではない。
- ・廃止のまま自由化されれば携帯電話料金のように料金比較ができなくなってしまう。消費者を混乱させることになるので廃止は反対。少なくとも標準料金のようなものを公表させるべき。
- ・競合する企業が少ないので現状では期待できないが、将来を考えると競争は必要。
- ・大手電力会社は、新電力に比べてまだまだ巨大すぎて、公正な競争が成り立つとは思えません。
- ・既存の大手電力会社と対抗出来るような支援を新規電力会社にしないと、結果的には消費者利益につながらないのではないかな？
- ・現状では、新規算入業者に不利。自由競争のできる条件整備がされていないと思う。大手電力会社に有利な現状だ。新電力が育つ条件整備がされて初めて自由競争が成り立つ。送配電の完全な分離を進めていくべき。
- ・地方は大手独占からなかなか変わらないと思う。
- ・競争が十分おきていると誰もが納得できる判断の基準が問題だと思っています。
- ・撤廃されると料金が高くなるのか安くなるのかわからない。
- ・電気はなくてはならないインフラであるため、市場よりも企業に価格決定権があるイメージ。果たして低価格競争が積極的に行われるものか想像がつかない。これ以上高くなっては困る。生活を圧迫する。
- ・撤廃後の電気料金が適正なものかどうか、検証評価されるようにしてほしい。
- ・現在の大手電力会社の影響力が強く残るかたちでの規制料金撤廃は市場競争を生まず、いびつな料金になるだけだと思います。より大手の電力会社の影響力をそぐような政策的介入をする必要があります。その上での、料金規制の撤廃であるならばよいと思います。
- ・もし撤廃した場合は、大手電力会社だけが有利にならないような競争が進むような施策と監視体制をとってほしい。
- ・大手電力会社の料金を基準として他社も料金メニューを決めているのが実態だと思うので、少なくともその状態が続く間はその基準となる料金について規制と監視を続けるべき。高福祉社会の実現と省エネルギーの観点から設定された3段階料金がなくなること不安で、それに代わる制度が必要。
- ・撤廃後、消費者が自由に選べるように個々のプラン、料金の一覧などの情報がほしい。
- ・各社、業務内容を開示し、透明性を担保していただきたい。料金プランを消費者にわかりやすく提

示していただきたい。

- ・規制料金の廃止の仕組みが周知されていない気がするのでもっと情報を周知する活動があったほうがよい。
- ・撤廃後に電気料金が上がるのか下がるのか、短期・中期でいいから見通しが欲しい。安易に乗り換えるのも怖い。
- ・疑問点が多々ありよくまだわかりません。完全自由化になって電力の供給が不安定になったカリフォルニアの例もあるが、日本で同様の状況が生じないのか。規制の撤廃で人口の多い地域はいいかもしれないが、地方は上がるのではないか。料金プランの細かな比較ができるまでの情報提供があまりないのでよくわからない。
- ・電話勧誘や訪問販売で不当な勧誘がされるのではないかと不安（しぼりのある契約や、違約金の説明などを十分にせずに契約締結させるなど）。
- ・規制料金の撤廃には賛成だが、大手電力は原発関連の会計制度が優位になっており、託送料金に移譲されるとなっているのは納得できない。送電網を各自治体が管理する必要があると思う。
- ・2020年に、現行の電力会社優遇策である「総括原価方式」を必ず撤廃させること。
- ・気になることは、料金が安くなるかということと、安定して供給されること、万が一のときに瞬時に復興してもらうことの三点である。総合的に大手を信頼しています。

以上

一般社団法人 全国消費者団体連絡会

ご協力よろしくお願いいたします。(締切：5月18日(金))

Q5. あなたのお住まいの地域で、経過措置が解除され、大手電力会社に対する料金規制が撤廃されること（規制料金の廃止）について、あなたの考えにいちばん近いものをお選びください

Q6. 経過措置が解除され、大手電力会社に対する料金規制が撤廃されること（規制料金の廃止）について、わからないことやご意見等を自由にご記入ください。（例：撤廃されたら電気料金はどうか、料金プランを選べるので撤廃しても良い、撤廃後の監視体制を徹底してほしい、など）

ご協力ありがとうございました

締切り 2018 年 5 月 18 日 (金)

「電気料金の自由化に関する消費者アンケート」結果
別冊資料(自由記述欄の記載一覧)

一般社団法人 全国消費者団体連絡会

※回答中の個社名は業種名(大手電力、ガス会社、新電力、携帯電話会社、生協など)に替えています。

※回答内容に複数のテーマが含まれている場合は、意見を分けて記載している場合があります。

Q 1. あなたのお住まいの地域はどこですか？(自由記述なし)

Q 2. あなたの世帯では、電力小売全面自由化以降、電力会社(電気小売事業者)を切り替えましたか？

※その他への記載(回答数：3)

- ・電力会社との契約をやめた
- ・大手電力からガス会社へ次に生協に変えた
- ・二度切り替えた

Q 3. (任意) よろしければその理由を教えてください。(回答数：174)

※「電力会社(電気小売事業者)を切り替えた」方の回答(回答数：69)

《安くなる》

- ・切り替えた方が料金が安くなるから(16)
- ・電気料金が安くなると言われたから(3)
- ・自由競争で料金が安くなると思った。
- ・電話料金、テレビ等込みで安くなるという説明を受け、変更した。
- ・利用している携帯電話で割引があったため

《原発由来を使いたくない》

- ・原子力発電由来の電力を使いたくなかったから(8)
- ・原発をやめようとしない大手電力の電気は使いたくないので(3)
- ・原発を進める電力会社から電気は買わない(2)
- ・原子力発電を行っている(行おうとしている)事業者とは契約したくないから
- ・大手電力は原発依存から脱却しようとしないから。
- ・原発を無くしていくための意思表示
- ・原発反対。
- ・原子力発電への不信
- ・電源に占める原発の割合が小さく、さらに縮小への努力が期待できるから。

《大手電力から切り替えたい》

- ・大手電力から替えたかった(7)
- ・3.11以降大手電力が信用できなくなった(2)
- ・大手電力との契約をやめたかった。
- ・大手電力の誠意のない態度がイヤだから。
- ・大手電力が嫌だから。
- ・大手電力の企業体質には憤りを感じているからです。
- ・既存の電力会社の影響力が少しは薄まると思った。

《再エネ電力を使いたい》

- ・再エネ率の高い事業者に切り替えたかったから（3）
- ・再エネを主として販売している小売にしたかった（2）
- ・自然エネルギーを使いたかったから（2）
- ・再生可能エネルギーの普及の一助になりたいと思ったから
- ・再生可能エネルギーを応援したいと思ったから
- ・脱原発のために再生可能エネルギー中心の電力会社に変えた（2）
- ・原発再稼働反対の立場であり再生可能エネルギーを使いたいからです。

《簡素化》

- ・1箇所で（ガス、電気、電話など）まとめて支払えるから（5）
- ・支払い方法の簡素化。

《勧誘等》

- ・営業で強く勧められた（らしい）。
- ・携帯電話会社から勧められた
- ・（本人、家族が）勤務している団体が販売を始めたため（2）

《その他》

- ・マンションの総会でマンションごと切り替えると決定したので（2）
- ・切り替えることで社会に貢献できる、意思を表明できると考えたため
- ・新電力を応援したかったから
- ・コープ商品にした
- ・簡単に切り替えできたから
- ・チェルノブイリ原発事故以後、日本に35基も原発があることがわかり、消費者グループに呼びかけ原発反対運動をしていましたのに、福島原発事故が起きてしまいました。
- ・特になし

＊「今までと同じ電力会社で、料金プランを切り替えた」方の回答（回答数：5）

- ・ポイントが貯まるから
- ・単価やサービスが向上しました
- ・比較情報がなかった
- ・オール電化なので
- ・電磁波に過敏なので、スマートメーターを避けたかった。試しに携帯電話会社にたずねたがやはりスマートメーター必須といわれた。大手電力は今のところアナログメーターなので。地方では選べる会社も少なく、PCなしでは会社を調べる術もよく分からない。

＊「切り替えていない」方の回答（回答数：97）

《メリットがない》

- ・切り替えるメリットを感じない
- ・切替のメリットがなかったから
- ・他社への変更は面倒、メリットはないと考えた
- ・一人暮らしのため、価格のメリットがないから。
- ・見積もりしたが、切り替えても料金が安くないから
- ・価格メリットが少ない。再エネ比率の多いところが少ない。
- ・今のプランが一番安いので（2）

- ・変えると料金が高くなるので
- ・金額が変わらないということもあり、別にいいかなと。でも考えたりすることはあります。
- ・電力小売自由化は電気料金が安くなるメリットが大きい印象だが、1人暮らしのため、金額メリットがないため。
- ・自宅で太陽光発電で電気料金は支払いのない月もあり、切り替えのメリットを感じないので。
- ・毎月数百円のコストダウンを狙ったが、解約時に数万円代の手数料を請求されるなど、最終的に損をする可能性があるため静観しています。今は試験段階だと思うので、あえてリスクを取りに行く場所ではないという判断です。
- ・特に変更する理由がなかったから
- ・今のままで問題がないため。
- ・変える必要性を感じない
- ・オール電化マンションのため、比較サイトで従来のプランが最適と出たため
- ・切り替えると冬の電気代が、かなり高くなり年金暮らしには、厳しい。
- ・切りかえるメリットが感じられない。
- ・深夜電力を安値で契約しているので（エコキュート導入）、他社に切り替えれば電気代が高くなると推測される
- ・オール電化の割引のメニューで選択しているため

《面倒》

- ・面倒だから（6）
- ・比較したり考えたりするのが面倒
- ・なんとなく面倒な感じだから。
- ・調べるのがめんどろで、そのままになっています。
- ・切り替えが手間だから
- ・業者の選択や手続きが面
- ・（切り替えは）簡単だというのが、料金引き落としの変更とかはあるのではないですか？ その手続きがめんどろです。
- ・内容を知らないし、手続きが面倒だから。
- ・引っ越しなどを予定しているため、切り替えは煩わしい
- ・面倒だから 新規参入は不安だから 主人の同意が得られなかったから
- ・積極的に情報収集していないため、単にそのままの状態になっているだけ。
- ・他社との比較をしている時間がないため。
- ・検討しつつもなんとなく変えていない（いつか変えなければとは思っています）

《よくわからない》

- ・よくわからないので（4）
- ・変えるということがどういうことか分からない、また変え方が分からないため
- ・見通しがわからない
- ・よくわからないので詳しい比較検討をしていない。
- ・きちんと勉強していないのでどこがいいのかわからない
- ・特になし。切り替えるキッカケがない？よくわからない？
- ・改善策になるのかなあ？ってところです。
- ・自由化を促進することが、市民にとって良いことか悪いことか分からないため控えている

《情報不足》

- ・切り替えたいと思うが、他電力会社の情報が少なく、選び方がわからない。

- ・切りかえてメリットが本当にあるのかわかりません。 大手電力をやめたいけれど、他のどこにかえるとよいかかわかりません。
- ・大手電力からは切り替えたいと思っているが、ほかにどのような事業者があるのか、どの事業者がよいのかなどの情報が（ガス会社や、鉄道会社などの大手事業者以外に）入手しにくく、実行できていません。
- ・大手電力から切り替えたいと考えているが、どんな電力会社が使えるのか、情報がなくてそのままになっている
- ・大手電力を変えたいと思っているが、どこがいいかわからない。また、比較検討する時間がない。
- ・世帯人数の変動が想定されており、メリットがあるか不明なため
- ・再生エネにしたいのだが、適切な事業者の情報がない。
- ・各社の違いが分かりにくく、スイッチの判断が難しい。
- ・切替先となる事業者のプラン等の内容を正確に把握する機会がないため。
- ・自宅の屋根で発電している太陽光での電気をいくらで買い取ってくれるかわかりやすい説明をしてくれるところがないから。
- ・現在、深夜割引契約をしているので、電力会社を切り替えて料金体系がどのようになるのか、正確な情報がないため。
- ・どのような電力小売業者に切り替えるのがよいのかよくわからないから。
- ・具体的に、他の会社を選んだ場合、どの程度の値引きがあるのか分からない。
- ・火力、原子力等、各会社がどの発電をどの比率で利用しているか調べてないため
- ・切り替えができることは知っていたが、その方法を調べる等、まだしていない

《マンション一括受電等》

- ・マンション一括受電のため（２）
- ・マンション住まいなので個人では変えにくいから（２）
- ・マンション全体で自由化前から大手電力以外の小売業者に替えていたから
- ・マンションで、電化住宅、お得な契約プランに入っているため
- ・マンションの管理組合が一括で契約しているため、個々の入居者が自由に切り替えることができない。
- ・マンションなのでダメだと思っていた
- ・マンションであり、変更が面倒
- ・集合住宅なので切り替えできないと思っていた。
- ・借家であり大家が電力会社と契約しているため
- ・シェアハウスに住んでおり、契約の主体が自身ではないため、切替のための手続きに着手できていません。

《選択肢がない》

- ・原発由来の電気じゃないところに変えたいが、そうすると私が住んでいる地域だと結局ガスや石油由来の会社の選択肢しかない。もっと自然エネルギーを主体にやっている会社に変えたいのだが・・・。
- ・新しく電気・ガスセットの電力会社を選択したいのですが、今の居住地ではガスがプロパンのためいまだに可能になっていません。
- ・東北の場合は選択肢が少ないから
- ・他に選択肢がないから
- ・比較して、切り替えたい電力会社が、見つからなかった。
- ・切り替える対象が見つかっていない。

《安定供給、不安》

- ・ 10 年前にオール電化にして、その時料金プランをお得なはぴEプランにしました。震災等、何かあった時の対応等考えて大きなところの方が安心と思い、大手電力にしています。
- ・ 停電になった時の対応の不安。 東日本大地震の時原発問題はありませんでしたが一般家庭への対応は良かったと思いました。その後も小さな事トラブルをニュースでみても大手電力の安定供給に安心しています。
- ・ 自由化が既存の電力会社の料金に反映されて安くなることは賛成するがまずは安定供給を望むため変更は考えていない。
- ・ 切り替えた会社が倒産したらどうなるのかとか、諸対応に不安があるから

《その他》

- ・ 検討中です
- ・ しばらくようすをみてと相談して、そのままになっている。
- ・ 切り替えたいと思っているが、もう少し様子を見てみたいから。
- ・ ガスの自由化も考慮に入りたいと考えるが、時は熟していない。
- ・ 再エネの新電力に切り替えたいが、オール電化住宅のため未だ思案中だが、原発の電気は使いたくないので電力消費量を 20～30%削減した。
- ・ 今までの電気料金より安くなるという説明に根拠が見いだせず、さらに悪徳商法としてまかり通っているので真偽が見分けられないから
- ・ 踏ん切りがつかない。大手電力のままで、別に電気料金はこのままで良いし、「原発の電力はノー！」みたいな気持ちも正直薄れてきているから。
- ・ 未だよく研究していない。オール電化の住宅でガス会社とは契約していないし、その他事業者を慎重に検討したいと思っている内に時間が経ってしまっている。あとで不都合が起きて電気が使えなくなったら大変困るし。
- ・ 単身赴任中のため
- ・ 新規参入会社と契約するに当り、全ての会社がスマートメーターに切り替えないといけないという契約を、大手電力と契約を交わしていた。しかし経産省に確認するとそういうことになっている法律は無いということだった。スマートメーターに多くの問題点を残したまま、悩んだ揚句、以前のままの大手電力の契約のままである。
- ・ エコキュート（IH）に数年前に替えて、ガス設備をやめた。ガス使用で火災の恐れから電気のみとしました。ガスは使っておりません。

＊「その他」の方の回答（回答数：3）

- ・ 自宅の屋根に太陽光パネルを置き、鉛の蓄電池で蓄電して使う「自給自足」をするようになったため。
- ・ 大手電力からガス会社へは、自由化を待ってすぐに変更しました。一時でも早く原発の電気を売る大手電力をやめたかったから。 ガス会社から生協に変えたのは、ガス会社が火力発電を行っていたから。生協の電気は風力・バイオマス・太陽光・小水力発電等再生可能エネルギーのみなので。
- ・ 一度目は、大手電力から携帯電話会社の電気へ。電気代を払っていたカードを解約する予定でしたが、カード会社や電気会社に連絡するのが面倒で、スマホの買替のついでに携帯電話会社の窓口で申し込みました（携帯代を払うカードと電気代のカードがまとまるので都合が良かった）。二回目は、携帯電話会社から、生協へ。生協の電気の申込みで 500pt 貰えたのと、生協の請求書で自分で電気代を把握できるので（携帯電話会社の電気は主人名義のカードなので金額など見る

ことができなかった)。

Q 4. 現在、経過措置として残されている規制料金は、原則 2020 年 3 月末で廃止され、地域ごとの大手電力会社(東京電力や関西電力など 10 社)も、すべて自由料金になることをご存知でしたか？
(自由記述なし)

Q 5. あなたのお住まいの地域で、経過措置が解除され、大手電力会社に対する料金規制が撤廃されること(規制料金の廃止)について、あなたの考えにいちばん近いものをお選びください

＊「その他」の記載(回答任意：回答数：9)

- ・電力会社同士の競争が十分に起きるとは思いますが、規制撤廃の効果も期待できません。
- ・大手以外が普及できる競争力を持てる条件の整備が必要なのにされていないので、次期尚早。
- ・撤廃すべきではない
- ・発送電が自由に使えるなどの参入会社が成長できる準備は大丈夫なのか？
- ・都会は 2020 年に撤廃しても良い
- ・電気代が高くなるのも安くなりすぎるのも困るので、そのあたりの監督がきちんとできるのであれば撤廃しても良い
- ・自由競争そのものは電力浪費や二酸化炭素排出増加を招く虞があるが、原価総括で料金を吊り上割高な原発にしがつく電力閥を挫くためにはある程度必要と考える。
- ・これまでの制度の中の電気の供給と料金の決め方に関して、生じた課題を混同して考えているような気がします。総括原価の積み上げである規制料金が一番安価である、という前提は正しいのだろうか。
- ・(幻想ではあるが) 安心できるという理由で選択される大手電力会社と、大手電力会社より低価格でかつ具体的利点を提示できる電気小売事業者が残っていくのだろう。

Q 6. 経過措置が解除され、大手電力会社に対する料金規制が撤廃されること(規制料金の廃止)について、わからないことやご意見等を自由にご記入ください。(例：撤廃されたら電気料金はどのようなのか、料金プランを選べるので撤廃しても良い、撤廃後の監視体制を徹底してほしい、など)
(回答任意：回答数：135)

《廃止に反対、時期尚早》

- ・消費者が規制料金のことや撤廃された場合のメリット・デメリットについて十分認識していないので 2020 年の撤廃には反対です。
- ・料金規制を撤廃しても、競争圧力が強まるわけではなく、むしろ値上げしやすくなるだけのため、消費者保護の観点から規制料金の廃止は反対。
- ・大手電力会社が送電網を独占している限り、自由な競争の土台が作られるとは思えないので、料金規制撤廃はするべきではない。
- ・国の金をつぎ込んで原子力発電をしている事業者がいる以上、規制料金を撤廃するのには反対です。もともと原発は廃止と考えているので、1 月にわずか数百円の違いで(だろうと思うが)喧伝に戻るつもりは毛頭ない。現在ガス会社と契約しているが、原発の電気が入る事すらいや。
- ・撤廃には時期尚早だと思う。送電料金等の問題もある。
- ・切り替えしている人はまだ 5%くらいと聞いているので、撤廃する状況ではないと思います。何を持

って競争が十分にできているとするのか、根拠を明確にしてほしいと思いますし、2020年撤廃には反対です。

- ・廃止のまま自由化されれば携帯電話料金のように料金比較ができなくなってしまう。消費者を混乱させることになるので廃止は反対。少なくとも標準料金のようなものを公表させるべき。

《競争、選択》

- ・競合する企業が少ないので現状では期待できないが、将来を考えると競争は必要。
- ・いずれにせよ、一社独占でなくなり、消費者が自主的に選択できる環境は良いと思う。消費者としてよく考えていきたい。
- ・規制料金撤廃は、必ず料金値上げにつながり、生活を圧迫するという前提で考えると、廃止はよくないこととなる。一方、規制料金の計算は総括原価の積み上げなので、企業の経営努力等が乏しいままに料金が決まっているという見解もあり得る。省エネという自助努力と自由に電力会社を選べるという選択権を最大限行使して賢く電気を使うという道もあるのではないのでしょうか。

《競争が十分に起きていない、大手に有利》

- ・大手電力会社は、新電力に比べてまだまだ巨大すぎて、公正な競争が成りたつとは思えません。
- ・「競争が十分に起きていない」～大都市以外の人口減の中、地方では競合おこらないのでは？イワサささえる一人当たり費用は地方は増額するのでは。JR四国、九州、北海道のように地域格差がうまれるのでは。
- ・生活に直結している電気なので、まだ大手電力会社と新電力との競争力に差がある状態では不安を感じる。
- ・自由競争の中で本当に真の価格競争が起こるのかは少々疑問。
- ・電力会社がどのくらい数あるのかわからないのですが、価格競争にはならないのでしょうか？小さい会社は不利にならないのでしょうか。
- ・大手電力会社は、様々なサービス（値下げも含めて）を実施して顧客の引き留めを図るので、あまり新規参入業者に流れないのでは。
- ・現状では、新規参入業者に不利。自由競争のできる条件整備がされていないと思う。大手電力会社に有利な現状だ。新電力が育つ条件整備がされて初めて自由競争が成り立つ。送配電の完全な分離を進めていくべき。
- ・今は送電網を大手電力会社が持っているので、完全に自由な競争にはならないのではないか。
- ・電力小売業者間の競争は十分にできている状態とは思えない、大手電力の優位（独占?）のなかで、自然エネルギー発電をと考えているが制度や条件で進まないように思える。
- ・既存の大手電力会社と対抗出来るような支援を新規電力会社にしないと、結果的には消費者利益につながらないのではないか？
- ・東京電力エリアは、現在59の電力会社があるので、料金撤廃されたら、それなりの競争はあるでしょうが、地方はどうなんでしょうか？そもそも選択肢が少なく、料金が高くなることもあるのかな？今までの独占事業よりは、ましなのかもしれないが、ほんとにそうなのかは、よくわかりません。全国一律、でなく、地域差を考えた時にすべてが丸なのか？
- ・地方は大手独占からなかなか変わらないと思う
- ・けっきょく大手電力会社が強いのでは？

《判断基準を明確に》

- ・競争が十分おきていて誰かが納得できる判断の基準が問題だと思っています。
- ・なにをもって競争が起きている、いないを判断するのか、きちんと議論して欲しい。

《撤廃されたら料金はどうなるのか？上がる？》

- ・撤廃されたら電気料金はどうなるのか（3）

- ・撤廃されたら電気料金はどうなるのか。企業にとって撤廃はメリットなのか。
- ・撤廃されたら電気料金はどうなるのか。
- ・撤廃されると料金が高くなるのか安くなるのかわからない。
- ・経過措置が外れたら値上げになるのか？ そうなると、困る人がたくさん出てくるのでは？
- ・規制料金が廃止され、安くなるのはありがたいと思うが、どんどん上がる事はないのでしょうか。
- ・規制の撤廃で人口の多い地域はいいかもしれないが、地方は上がるのではないかな？
- ・自由化で、料金が安くなるとも思えない。
- ・電気はなくてはならないインフラであるため、市場よりも企業に価格決定権があるイメージ。果たして低価格競争が積極的に行われるものか想像がつかない。これ以上高くなるとは困る。生活を圧迫する。また、今の電力自由化に伴った料金プランは、ある程度の電気を使用する家族用のプランが多い為、1人暮らしには魅力を感じない。これから単身世帯がどんどん増える中では結局大企業が安心と信頼で独り勝ちでどんどん電気料金を吊り上げそう。
- ・電力の値上げが頻発しそうで、心配になりました。
- ・撤廃後、結局のところ、電気代は高くなるのか、安くなるのか。携帯電話みたいに、やたらとややこしくなって選びにくくなるだけではないのか。
- ・撤廃後に電気料金が上がるのか下がるのか、短期・中期でいいから見通しが欲しい。安易に乗り換えるのも怖い。

＜撤廃後の監視、規制＞

- ・撤廃後の電気料金が適正なものかどうか、検証評価されるようにして欲しい。
- ・もし撤廃した場合は、大手電力会社だけが有利にならないような競争が進むような施策と監視体制をとってほしい。
- ・料金規制が撤廃されて、料金が自由化されれば、料金が企業の儲けの手段にされて料金が上がる可能性もあるかもしれない。そうならないために、適正な規制は必要ではないかとも思う。そうならないための保障、例えば、監視体制の強化などが必要であろう。
- ・制限なき独占にならないよう、監視体制を確立する必要がある。
- ・撤廃後の監視体制を徹底してほしい。
- ・撤廃後も監視体制を徹底してほしい。
- ・不当な料金設定が起らないよう、しっかり監視する体制はとってほしいです。
- ・撤廃後の監視が充分出来るかが心配なので、徹底して欲しい。
- ・撤廃されたらどうなるのか、よくわからない。監視体制を徹底してほしい。
- ・電気は必ずどの世帯でも契約が必要な基本的なインフラ。十分な情報が行き届かない高齢者などの弱者に対して（料金制度などを知らずに契約しており）高い料金負担となっていないかどうかなどの定期的な調査・チェックは必要だと思う。
- ・撤廃後の料金が上がりすぎないか不安なので監視体制を整えてほしい
- ・撤廃されたら大きい電力会社が有利になるのではないかな。撤廃後の監視体制などをもっと明確に知りたい。
- ・Q5・3番目の回答に加え、その後も監視体制を強化してほしいです。
- ・安さを強調した新規参入業者の安定供給や倒産に対しての監視体制を徹底してほしい
- ・規制料金が撤廃されても、今までの慣習を変えて自由競争が活発に起きるとは思えないので、慎重に監視し、新規参入の電力会社に消費者がおどらされることのないよう、十分に監視していただきたい。
- ・大手の電力会社の好きにさせないように第三者委員会みたいなので、厳しく監視してほしい。
- ・独占企業の電力会社に自由競争はあり得ないと思います。先に電話事業における料金競争が政府に

よる価格統制が入って通話料金、機器の価格が戻された経緯があった如く、消費者目線ではなかった。自由競争の原則と監視体制を望む。

- ・現在の大手電力会社の影響力が強く残るかたちでの規制料金撤廃は市場競争を生まず、いびつな料金になるだけだと思います。より大手の電力会社の影響力をそぐような政策的介入をする必要があります。その上での、料金規制の撤廃であるならばよいと思います。
- ・大手は、ほぼ談合のようなことをすると思われるので（震災対応や原発再稼働などへの態度で信用していない）、監視とコントロール手段が必要。
- ・大手電力会社の料金を基準として他社も料金メニューを決めているのが実態だと思われるので、少なくともその状態が続く間はその基準となる料金について規制と監視を続けるべき。
- ・監視規制に併せ規制の強化がしてほしい。
- ・本当に自由な競争が行われるのか、消費者の立場に立った規制を望みます。
- ・安定した供給は必要なので一定の規制は必要かと思う。発送電分離をあわせて行なってほしい
- ・きわめて公共性の高い事業なので関係する企業の経営に民主的なコントロール、監督する仕組みは欠かせないと思います。自由化を促進した結果、市民が自分の首を絞めることにならないように自分も努力したが公共団体も広報の責任があると思います。
- ・撤廃後の監視体制というか、併せて情報の公平な提供を望みます。
- ・撤廃され安い料金の選択がわかりやすく示されること。撤廃後の監視体制を徹底し、定期的に情報提供してほしい。

《情報提供の要望》

- ・仕組みが周知されていない気がするのでもっと情報を周知する活動があったほうがよい。
- ・分かりやすい説明と公平な情報提供を社会的弱者まで届くようにしてほしい。
- ・規制料金の廃止についてPR不足だと思います。
- ・電気って必要不可欠だし、多少高くても大手の方が安心だし、安心という意味では、安ければ良いと思えるものでもない。ただ、もっと他電力会社の情報がもっと入ってくれば良いと思う。なので、とにかくよくわからない。
- ・複数のガス会社が営業にきたが、本当に安いのかよくわからない。撤廃されたら電気料金がどうなるのかも、よくわからないので、もう少しわかりやすい説明がほしい。
- ・電気料金に含まれる内容すべてに、納得いく説明を消費者に、わかりやすくして欲しい。
- ・各社、業務内容を開示し、透明性を担保していただきたい。各社、料金プランを消費者にわかりやすく提示していただきたい。
- ・撤廃後消費者が自由に選べるように個々のプラン、料金の 一覧などの情報がほしい
- ・料金プランを比較しやすいよう、各社の料金体系は一律にほしい。
- ・分かりやすく、比較しやすい料金プランにほしい。電源比率を明示して、再生エネルギーの割合などを示してもらいたい。
- ・料金設定の根拠の見える化。
- ・電気料金のすべての経費内容（比率等）が国民がどこからでも見られるようにすべきだ。
- ・ダンピング等を防ぐため、原価明細の公開を義務付ける必要がある。
- ・今はインターネットでいろいろな情報を調べられるようになっているが、そういうことの苦手な人もいると思う。そういう人にも正しい情報が入手できるようにしてほしい。
- ・寡占状態が続くようでは、大手電力会社の都合のよい料金になる可能性がある。競争状態がおこるよう、情報開示を進めるべき。また消費者の意識も大切。
- ・自然エネルギーを応援（利用、選択）できるような情報があると良いなと思っています。
- ・自然エネルギーを選びやすい（わかりやすい）ようにしてほしい。

《知りたい》

- ・本当に電力会社を選べるようになるのか？
- ・撤廃された場合の消費者にとってのデメリットは何ですか？
- ・電気を1番多く使った時を基本料金として使わなくても下がらないと聞いたが本当か？
- ・大手電力以外で自家発電分を買い取ってくれるところがあるのか、知りたいです。
- ・配送電分離はその前にされるのかどうか。
- ・疑問点が多々ありよくまだわかりません。完全自由化になって、電力の供給が不安定になったカリフォルニアの例もあるが、日本で同様の状況が生じないのか。
- ・撤廃された後、小さな小売事業者が結局競争に負けて倒産したら、その電力会社の電気を買っていた消費者はどうなるのか？スムーズに他の会社に移行できるのか？
- ・原発反対なので、自然エネルギーを少しでも使ってくれる業者など選べることは出来ますか？
- ・環境影響を最小限に抑えた再生可能エネルギーへの転化する為に何をすれば有効なのか知りたい。
- ・短絡的に考えれば、特に参入の多い首都圏においては、顧客獲得のために料金を引き下げるよう、市場からの圧力がかかると考えられるが、そうしたなかでも留意しておくべき点、懸念すべき点を知りたい。
- ・電気料金の金額だけでなく、今まで同様のサービスが受けられるのかも知りたい

《心配、不安》

- ・値引き競争が激しくなり、不正や偽証などが起こり、消費者にとって不利益なことが起こらないか心配。
- ・電話勧誘や、訪問販売で不当な勧誘がされるのではないかと不安。（しほりのある契約や、違約金の説明などを十分にせずに、契約締結させるなど）
- ・電力小売り会社の代理店からの勧誘等で新たな消費者被害が発生するのではないかと心配です。
- ・撤廃されるとトラブルが起きた時キチンと対応してくれるか不安
- ・料金プランでの説明が十分とはいえない気がしていますので、規制撤廃後にさらに消費者理解が困難な料金プランが乱立するような気がし、漠然とした不安があります。
- ・利用する家庭に合った料金プランを正しく選べるのか。不利益を被る可能性もある。非常に不安だ。
- ・消費者としては電気料金が安くなるのはうれしいが、料金プランが複雑になると選ぶことが大変になるとおもう
- ・日本の電機供給システムは素晴らしいと思う。行き過ぎた価格競争により、供給システムを維持できるのか心配である。
- ・供給責任が心配
- ・それよりも発送電分離によるデメリットも議論して欲しい。災害時、電気は復旧が早いと言われていたが、3社に分割するとそうした連携が上手くいくのか心配。
- ・配電サービスや保守点検の品質向上が心配です。
- ・価格競争のみでは不測の事態への備えが心配。価格競争がなかった時代も地震への備えができていなかったことが露呈していますが、、
- ・これまでは電力を独占供給してきた大手電力会社が不当に値上げをしないように料金規制が行われてきたが、競争が激しくなると大手電力会社が顧客を離さないために、逆に薄利多売で不当に値下げをするようになるのではないかと。現実として、各家庭のソーラー発電に蓄電池をセットすることでお得になるプラン（結局は原発で作られてしまう夜間電力を蓄電用に売りつけることが目的）などが関連会社から紹介されるなどしている。電気自動車も然り。からくりを知らない消費者は、安い方が得だと思って契約してしまうと思う。しかし、それを推進するために原発の再稼働や新規建設を進める可能性があり、それによって生じる大きなツケが後世に回されることを危惧する。

《その他の要望》

- ・2020年に、現行の電力会社優遇策である「総括原価方式」を必ず撤廃させること。
- ・規制料金の撤廃には賛成だが、大手電力は原発関連の会計制度が優位になっており、託送料金に移譲されるとなっているのは納得できない。送電網を各自治体が管理する必要があると思う。
- ・公共のライフラインは、誰でも安心して利用できる事が求められています。原発よりは、自然エネルギー利用で電気を利用できるようにすべきだと思います。
- ・再生可能エネルギーなどが選択できればと思っています。
- ・一人暮らしだと自由に電気会社を選べると言われてもどこもさほど変わりはなく、結局切り替えをしていない。電気の自由化に限ったことじゃないけど、もっと一人暮らしでも料金が安くなったと実感できるような制度を作してほしい。
- ・高福祉社会の実現と省エネルギーの観点から設定された3段階料金がなくなることにも不安で、それに代わる制度が必要。
- ・人間の生活に必要なものは国がやるべきと思う。民間のもうけ対象は反対
- ・消費者の不利にならないような進め方にしてほしい。
- ・値下げ合戦をしてサービスが落ちないようにしてほしい。
- ・地方でも選択できる会社が増え、料金が安くなるのか？PCなしでも、会社を選ぶ情報がムリなく入手できるようにしてほしい。スマートメーターでなくても契約できるように、もしくは電磁波被害の少ないスマートメーターにしてほしい。本当に困っている！

《よくわからない》

- ・電力小売自由化が本当によいものなのかどうかすら不明です
- ・規制料金の内容がよくわからない。
- ・大手電力会社の料金自体が適正価格だったのか分からない。それを基準に電気小売事業者が価格を設定するのは正しい判断なのか分からない。
- ・料金プランの細かな比較ができるまでの情報提供が、あまりないので、よくわからない。
- ・関心がないのでよくわからない。
- ・上の方で説明してくれてたけど、それでもわかりづらい。よってこの問6の質問もよくわからない。

《様子を見る》

- ・今のところ状況をみておきたい。
- ・なりゆきを見る
- ・そこまで変な値上げはしないだろう、と楽観視してしまっている。「この値上げは許容できない」と思ったら流石に調べて乗り換えると思う。
- ・今後安くなるようには思えない。今もそう感じない。あまり安く思えないからあえて変えようとも思わない。そこまでのリスクはいらない。
- ・自由競争をしたら最終的には大手電力会社が残ることになるだろう。長い目で見れば電力利用者としては、大手電力会社から電気小売業者に切り替えるほどの費用対効果はないだろう（月500円未満？）から、手間を省くために、私は大手電力会社を使っていくと思う。

《その他》

- ・原発、石炭、石油、LPG等枯かつ燃料から脱却し真の再生可能エネルギー（バイオマス、水力、風力、太陽光、その他）による経済に向けた電気料金を考えてゆく事が大切と思う
- ・原発反対なので、原子力発電に関係しない電力を真剣に考える時が来ていると思います。
- ・消費者にとって、何年も先をみこして本当に電気料金が下がり、原発にたよらなくてよい電気を受けるためには何が大切か。大手電力はかくしたり、ごまかしたりしていることが多くて信用できない気がする。

- ・電気料金は、東日本大震災後に、値上がりしています。除染費用を、企業ではなく、一般人に負担させているのではないかと思います。その費用が、様々な形で、不正に流れているのを聞くと、この値上げが果たして必要なのか？大手電力の社員の給料は、十分に切り下げられているのか？疑問に思います。
- ・電力安全が大切であり、電源構成の開示状況も気になるところ。安かろう悪かろう、あるいは高値にはり付くのも困る。
- ・再生可能エネルギーといいながら、実は石炭火力発電だったりの情報隠しや不当労働など。
- ・規制料金が残る託送費用に福島原発の事故費用や賠償費用が含まれるようになることが大問題だと思っています。再生可能エネルギー中心の電力会社を選んでも、原発の費用をなぜ負担しないといけないのか理解不能です。
- ・電気代と福島第一原発廃炉の関係
- ・送電線が大手電力会社のものなら自由化にも限度がある。環境にやさしい電力がどこまでできるのか、まだわからない。今は大手の価格での競争だけのような気がする。今でも石炭火力を重視しているし、原発の再稼働も次々あり、信用できない。
- ・日本の電力政策も見通せない中、他の電力会社に行移行しても、メリット・デメリットかがはっきりせず、何年か後にまた変更するような状態で、「さあ質問ありませんか」と問われても「何もありません」と答えるしかありません。
- ・非常に難しい問題だと考えます。政治状況にも左右されるのではとも思います。
- ・気になることは、料金が安くなるかということと、安定して供給されること、万が一のときに瞬時に復興してもらうことの三点である。総合的に大手を信頼してします。
- ・大手電力からガス会社に変えましたが結局大手電力に戻しました。医院を経営していて、電気のちょっとしたトラブルでガス会社に問い合わせをしたところ、結局大手電力の力を借りないとダメということが分かりました。価格よりも供給の安定性を重視しました。安い料金でも安定性が確保できているかは重要です。
- ・今払っている電気料金と比べて選べるようになれば良い
- ・正直いろんな会社が宣伝にきてうるさいわりに安くなった気がしないので自由化になる前の地域 1 社の方がよかった
- ・とくにありません
- ・特になし

以上

参考資料

「電力・ガス小売自由化に関する課題についての消費者委員会意見」(平成 30 年 5 月 31 日)
から『経過措置料金規制解除』関連の紹介

(※下線は編集)

「電力・ガス小売自由化に関する現状と課題について」

(平成 30 年 5 月 31 日 消費者委員会公共料金等専門調査会)

Ⅱ.電力小売自由化に係るフォローアップ

⑦ 経過措置期間終了後の料金規制の解除（経過措置に関する消費者の認知）

2020 年 3 月までに電力に係る経過措置料金規制が原則撤廃されることとなっているが、「経過措置料金という言葉」に関する消費者の認知度は約 2 割、「経過措置料金が少なくとも 2020 年 3 月末まで続くこと」を知っているのは 5 %にとどまっている²⁰。なお、現行の規制料金でサービスを享受している消費者が大部分にとどまる中、契約を切 替え済み、又は切 替え予定がある消費者でも、経過措置料金規制解除後、現在の 3 段階料金 が選択できなくなる可能性があることにつき 7 割が認識していない²¹。

20 平成 30 年 5 月物価モニター調査結果(速報)(平成 30 年 5 月 16 日 消費者庁)より。

* 調査結果の一部抜粋

3. 調査結果の概要

【意識調査結果】

④ 2016 年 4 月に開始した電力小売全面自由化に関連し、経過措置料金に関する事項の認知度について 聞いたところ、「経過措置料金という言葉」について知っている人の割合は 23.3%だった。「経過 措置料金が少なくとも 2020 年 3 月末までは続くこと」について知っている人の割合は 5.3%で、「いずれも知らない」と回答した人の割合は 76.7%だった。

21 第 45 回公共料金等専門調査会(平成 30 年 4 月 26 日) 電力・ガス小売自由化に関する消費者の意識について(消費者委員会提出資料)P14 より。

Ⅳ.今後重点的に注視すべき論点

③ 経過措置料金解除に係る慎重な検討

経済産業省(資源エネルギー庁及び電力・ガス取引監視等委員会)においては、2020 年の経過措置料金規制の原則解除に向けた議論が開始されているが、当該規制は、旧一般電気事業者による「規制なき独占」に陥ることを防ぐ安全保障手段となっている。解除のためには、公正な事業者間の競争状況が確保され、ひいては消費者がサービスを受けることができる状況が確保されることが大前提である。英国においては、料金規制撤廃後の電力料金の上昇を受け、一般向け変動料金についてプライスカップ規制の導入を進めようとしている事例も

見られるところである⁴²。こうした例に鑑み、関係機関による議論の材料とするため、「解除前に競争が十分に行われているか」、「解除後もその競争が持続的であり、独占市場への不可逆性が確保されているか」といった点に係る客観的な指標や消費者等に関わるデータに基づく慎重な判断が必要である。また、解除に係る検証に当たっては、時間的余裕を持った検討及びより幅広い消費者の議論への参画並びに消費者からの意見聴取の機会確保が不可欠であることを資源エネルギー庁及び電力・ガス取引監視等委員会等は留意すべきである。なお、ほとんどの消費者は前述のとおり、2020 年 3 月までに法律上、原則的に経過措置料金が撤廃されことをそもそも認識していない。仮に 2020 年に料金規制が撤廃される地域が議論の結果明らかとなった場合には、資源エネルギー庁及び電力・ガス取引監視等委員会等は撤廃に係る消費者への広報周知のための方法を十分余裕をもって検討すべきである。

42 第 43 回公共料金等専門調査会（平成 30 年 3 月 14 日） 電力中央研究所澤部主任
研究員提出資料 P10 より。

以上